

船橋市議会議員

千葉民主連合所属

みっはし

三橋さぶろう

議会活動報告

幼児教育無償化



幼児教育・保育を無償化する改正子ども・子育て支援法が施行され、本年10月より幼児教育の無償化が始まります。対象は3～5歳児の全世帯と0～2歳児の住民税非課税世帯です。

子どもが通う施設により無償化される上限額が異なります。認可保育施設は全額無償、認可外保育施設の場合、0～2歳は月額4万2千円、3～5歳は月額3万7千円無償化されます。幼稚園や子ども園は原則的に全額無償となりますが、高額な施設利用者の場合は月額最大2万5千7百円までとなります。

子育て支援や少子化対策として幼児教育の無償化は大いに賛成であり期待していますが、通園バス費用や食材料費、教材費は無償化の対象外であり、完全に無償化とはなっていないのが残念です。また、本来は認可保育施設に通わせなかったのに、空きが無いため認可外保育施設や幼稚園に通わせている世帯にとっては不平等だとの意見もあります。

(裏面に続く)

三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(40歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業
株式会社カネボウ
江東区健康スポーツ公社
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 初当選
- 2019年 2期目 当選
- 特 技: クロスカントリースキー
- 1998年長野オリンピックボランティアスタッフ
- 2002年ソルレイクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 船橋市消防団20分団2班
- 好きな言葉: 出来ることからコツコツとやる
- 家族: 妻、息子(6歳)、娘(1歳)
- 趣味: 子どもと散歩
- 船橋市習志野台 在住

(表面から)

さらに深刻な問題として、幼児教育無償化の制度の枠組みに入れず、支援を一切受けることができない施設があります。この施設は幼稚園と同等またはそれ以上の教育内容で運営されているものの、国が定める設置基準を完全に満たすことができないため、正式な幼稚園とは認められず、幼児教育無償化の対象外となっています。これらの施設は「幼稚園類似施設」と呼ばれ、その存在は全国各地にあり船橋市内でも三橋が調査した限りでは少なくとも2施設あります。

幼稚園類似施設が幼稚園設置基準を満たすことが出来ない理由はそれぞれありますが、例えば園舎や運動場の面積の不足、保育室や便所の数が足りない、足洗用設備が設置困難などです。しかし、基準を満たさないから教育内容に不足が生じているわけではありません。基本的に認可幼稚園と変わりなく幼児教育が行われており、施設によっては特色豊かで手厚い教育・保育がなされている場合も多々見受けられます。船橋市内の幼稚園類似施設も、基準は満たしておりませんが良質な幼児教育をおこなっていることを確認しております。基準を満たさないからと言って幼児教育無償化の対象外とするのは合理性を欠いていますし、保護者にとっては非常に不公平です。こうした幼稚園類似施設も無償化の対象とするべきであり、国は早急に対応するべきです。無償化の実施までの期間が非常に短い状況ですので、国がすぐに対応できない場合は船橋市が無償化と同等の支援を行う仕組みを整えるよう働きかけていきたいと思っております。安心して子育てができる船橋市を進めてまいります。

令和元年 船橋市議会 第2回定例会

8月29日(木)～10月4日(金)

市議会はインターネットでも中継されます。

議案や審議内容、日程等については議会ホームページをご覧ください。

ご意見やご要望をお寄せください。

〒274-0063 船橋市習志野台4-10-12 (新京成線習志野駅から徒歩4分)

電話：047-402-2810

FAX：050-3488-3190

E-mail: funabashi@mituhashisaburo.jp

三橋さぶろう まで

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。